



米子・呉方面出動訓練の実施報告

特定非営利活動法人救助犬訓練士協会

平成24年9月9日(日)～9月13日(木)

米子・呉方面出動訓練の実施報告

1 期間

平成24年9月9日(日)～9月13日(木)

2 訓練のねらい

- (1) 災害出動時の派遣チーム及び救助犬の移動、宿泊（露営）等について演練し、検証する。
- (2) IRO 主催救助犬出動認定試験（SD-MRT）の事前訓練を行い、練度の向上を図るとともに、準備状況を確認する。
- (3) 海上自衛隊救助犬(警備犬)との合同訓練を通じ相互理解及び練度の向上を図る。
- (4) 山陰地方における救助犬の訓練展示等により、救助犬に対する啓蒙・理解の増進拡大を図る。

2 訓練項目

- (1) 車両（借り上げマイクロバス）による人員、犬、器材の輸送要領
- (2) 露営用天幕設営要領
- (3) 瓦礫搜索（夜間を含む）
- (4) 救助犬訓練法及び警備犬に対するワンポイント・レッスン（訓練指導）
- (5) SD-MRT の概要
- (6) 救助犬訓練展示

3 参加者

RDTA 理事長	村瀬英博
同理事	玉川輝明（救助犬1頭、一部不参加）
同訓練担当	大島かおり（一部不参加）
同海外渉外担当	島津芳明
同国内渉外担当	山田道雄（救助犬1頭）
同訓練士	溝部秀子（救助犬1頭）
同訓練士	村瀬裕太（救助犬1頭）
同会員	剣持宏昭（救助犬1頭）

4 行動の概要

- 9月9日(日) 17:50 RDTA 事務所(藤沢) 発
10日(月) 05:20 森田康博氏宅（鳥取県米子市淀江町）着
09:00 救助犬訓練展示開始（淀江町宇田川公民館グラウンド）
10:00 同終了、触れ合いタイム開始

- 10 : 30 触れ合いタイム終了
- 10 : 30 - 12 : 00 休憩・昼食 (森田邸)
- 12 : 00 森田邸発
- 16 : 15 海上自衛隊呉造修補給所貯油所 (広島県呉市吉浦町) 着
犬、器材の収容、訓練準備等
- 19 : 00 - 21 : 00 貯油所隊員との懇親会
- 11日(火) 07 : 55 - 08 : 20 海自呉地方総監部幕僚長中西海将補表敬訪問(村瀬、玉川、大島、山田)
- 08 : 40 - 08 : 50 警備犬慰霊碑参拝
- 09 : 00 - 12 : 00 座学「IRO 試験規定改正内容及びアラートボックスを使用した訓練法」
- 13 : 30 - 15 : 30 実技訓練「アラートボックスを使用した訓練法」
- 15 : 30 - 16 : 30 実技訓練「警備犬に対するワンポイント・レッスン」
- (以下夜間訓練)
- 17 : 30 SD-MRT 参加チーム (RDTA2名2頭、海自2名2頭) 仮想 RDC (正門前) 出発
- 17 : 35 - 18 : 00 仮想 Bo O 着、設営作業、夕食、待機 (構内露营地)
- 18 : 15 非常呼集
- 18 : 30 - 19 : 00 夜間行軍 (約 2Km)
- 19 : 00 - 20 : 30 3か所の連続捜索 (中西幕僚長視察)
- 20 : 30 - 21 : 00 夜間行軍 (約 2Km)
- 21 : 00 - 22 : 20 2か所の捜索
- 22 : 45 夜間訓練終了
- 12日(水) 10 : 20 - 12 : 20 夜間訓練講評及び SD-MRT の概要説明
- 13 : 30 - 15 : 00 ① 実技訓練「警備犬に対するワンポイント・レッスン」
② 瓦礫捜索訓練
- 15 : 00 - 15 : 45 撤収作業、出発準備
- 16 : 00 呉発
- 13日(木) 05 : 35 RDTA 事務所(藤沢) 発

(注) RDC : Reception and Departure Center

BoO : Base of Operation

5 訓練の成果

(1) 災害出動・陸路移動要領の体験

今回初めて借り上げマイクロバス (7 m) 1 台に人員 8 名、救助犬 5 頭、器材を搭載し移動訓練を行ったが、積載、運航上特に問題はなく複数チームの移動、経費節減

上効果的であることを確認するとともに、天幕露営等諸器材の準備状況等について検証出来た。

(2) SD-MRT 事前訓練の体験

海上自衛隊呉基地において RDTA 会員で MRT 参加予定の 2 名 2 頭に対し、連続 5 時間にわたる設営、夜間訓練（行軍及び瓦礫搜索）を計画し、貴重な事前訓練として体験させるとともに今後の準備訓練の指針を得ることが出来た。

また、海自側参加チーム（2 名 2 頭）についても初めての夜間訓練を合同で体験し、貴重な教訓を得られたとの所見があった。

(3) 海自救助犬、警備犬との合同訓練

欧州における最新の救助犬訓練方法を講義及び実技で紹介し、海自側救助犬の練度向上に寄与するとともに、RDTA 側としては吉浦貯油所の本格的な瓦礫搜索会場での救助犬搜索を初めて体験することが出来た。

また、海自側警備犬に対してもワンポイントレッスン方式で訓練指導を実施することにより効果的な練度向上に寄与出来た。

(4) 今回地元からの要望により、初めて鳥取県米子市において救助犬の説明、展示等のデモンストレーションを実施したが、消防、自治体の救助犬に対する関心も高く、熱心な見学者が多かった。また、マスコミの取材もあり、NHK ローカル TV ニュースで「3.11 出動の救助犬が訓練を披露」と報道される等、災害救助犬の啓蒙・広報に成果があった。

6 所 見

(1) 今回程度の出動チーム規模であれば借り上げマイクロバスによる陸路移動も十分可能であることを検証出来たが、実際の災害を考慮した場合、東日本大震災時のように車の借り上げや燃料の調達が困難な場合もあるので、基本的には自前の出動用車両を整備しておく必要がある。

(2) SD-MRT を想定した訓練を初めて計画したが、国内でも難度の高い海自呉基地（吉浦貯油所）の瓦礫搜索訓練場を使用しての夜間搜索等を通じ、MRT 参加チームの現状を確認するとともに、今後の準備訓練の指針を得ることが出来、大変効果的な訓練となった。

海自側もより実際的な訓練を希望しており、今後毎年の呉基地での合同訓練において計画することで合意した。

(3) 呉基地の海自警備犬に対しワンポイント・レッスン方式により訓練指導をしたが、海自内他基地の警備犬や空自入間基地の歩哨犬等公的機関の警備犬・歩哨犬（救助犬）の訓練指導要請に対しては、当協会としては今後とも積極的に応じて行きたい。

また、国内各地における自治体や民間団体に対する救助犬の啓蒙活動は依然不十分な状況にあり、今後とも出動訓練等の機会を利用し積極的に計画したい。

「米子・呉方面出動訓練」写真集



写真 1：米子市淀江町宇田川公民館グラウンドにおける救助犬訓練展示風景（その 1）



写真 2：米子市淀江町宇田川公民館グラウンドにおける救助犬訓練展示風景（その 2）



写真 3：米子市淀江町宇田川公民館グランドにおける救助犬訓練展示風景（その 3）



写真 4：救助犬訓練展示－NHK 鳥取放送局からの取材



写真 5 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練・座学 (その 1)



写真 6 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練・座学 (その 2)



写真7：海自呉基地（吉浦）での合同訓練・実技（その1）



写真8：海自呉基地（吉浦）での合同訓練・実技（その2）



写真 9 : 海自呉基地 (吉浦) での夜間合同訓練 (その 1)



写真 10 : 海自呉基地 (吉浦) での夜間合同訓練 (その 2)



写真 11：海自呉基地（吉浦）での夜間合同訓練（その 3）



写真 12：海自呉基地（吉浦）での夜間合同訓練（その 4）

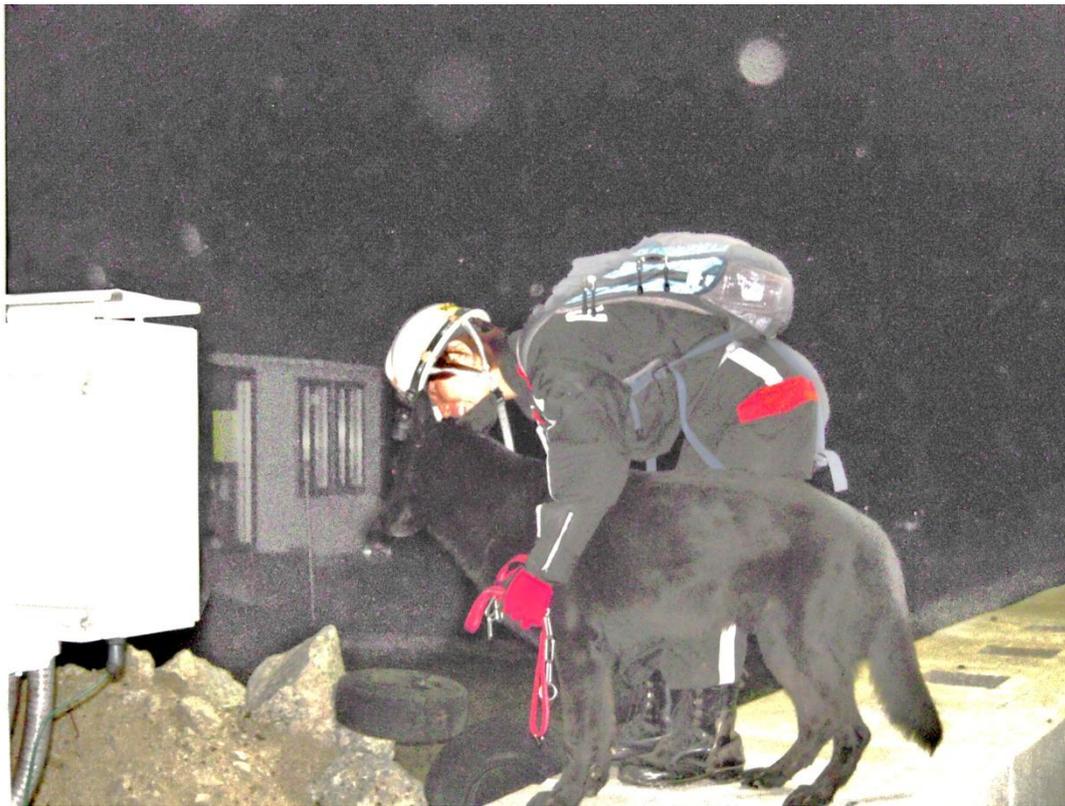


写真 13 : 海自呉基地 (吉浦) での夜間合同訓練 (その 5)



写真 14 : 海自呉基地 (吉浦) での夜間合同訓練 (その 6)



写真 15 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練・SD-MRT 座学



写真 16 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練・ワンポイントレッスン



写真 17 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練終了時の集合写真